

学校コード F113310103858
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 学部等連係課程実施基本組織の設置
注1

届出

注2
明星大学 データサイエンス学環

**【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

学校法人明星学苑
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学苑・大学企画局
職名・氏名	シニアエキスパート <small>フタナベハルシ</small> 渡辺 春志
電話番号	042-591-7289
（夜間）	042-591-7289
e-mail	gad-kaiso@ml.meisei-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

データサイエンス学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明星学苑

(2) 大学名

明星大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒191-8506
東京都日野市程久保2丁目1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ モトカズ) 吉田 元一 (平成24年11月22日)		
学長	(オチアイ カズヤス) 落合 一泰 (令和2年4月1日)		
学環長	(シノハラ サトシ) 篠原 聡 (令和5年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
7-2921工学環 学士 (7-2921工学)	工学関係	4年	30人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	120人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期															
A 入学定員	人 () []																
志願者数	() []	517															
受験者数	() []	493															
合格者数	() []	260															
B 入学者数	() []	30															
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		-		-	1倍	1倍	1倍	1倍

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、() 書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	30 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<データサイエンス学環>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	学びとキャリア	1前	2									兼5
	データサイエンスリテラシー	1前-後	2									兼5
	世界の言葉と文化を知る	1前	2									兼6
	健康スポーツ科学論	1前-後	2									兼2
	英語1A	1前		1								兼1
	英語1B	1前		1								兼1
	英語2A	1後		1								兼1
	英語2B	1後		1								兼1
	ドイツ語1A	1前		1								兼1
	ドイツ語1B	1前		1								兼1
	ドイツ語2A	1後		1								兼1
	ドイツ語2B	1後		1								兼1
	フランス語1A	1前		1								兼1
	フランス語1B	1前		1								兼1
	フランス語2A	1後		1								兼1
	フランス語2B	1後		1								兼1
	中国語1A	1前		1								兼1
	中国語1B	1前		1								兼1
	中国語2A	1後		1								兼1
	中国語2B	1後		1								兼1
	韓国語1A	1前		1								兼1
	韓国語1B	1前		1								兼1
	韓国語2A	1後		1								兼1
	韓国語2B	1後		1								兼1
	スペイン語1A	1前		1								兼1
	スペイン語1B	1前		1								兼1
	スペイン語2A	1後		1								兼1
	スペイン語2B	1後		1								兼1
	英語3A	2-3-4前		1								兼1
	英語3B	2-3-4前		1								兼1
	英語4A	2-3-4後		1								兼1
	英語4B	2-3-4後		1								兼1
	ドイツ語3A	2-3-4前		1								兼1
	ドイツ語3B	2-3-4前		1								兼1
	ドイツ語4A	2-3-4後		1								兼1
	ドイツ語4B	2-3-4後		1								兼1
	フランス語3A	2-3-4前		1								兼1
	フランス語3B	2-3-4前		1								兼1
	フランス語4A	2-3-4後		1								兼1
	フランス語4B	2-3-4後		1								兼1
中国語3A	2-3-4前		1								兼1	
中国語3B	2-3-4前		1								兼1	
中国語4A	2-3-4後		1								兼1	
中国語4B	2-3-4後		1								兼1	
韓国語3A	2-3-4前		1								兼1	
韓国語3B	2-3-4前		1								兼1	
韓国語4A	2-3-4後		1								兼1	
韓国語4B	2-3-4後		1								兼1	
スペイン語3A	2-3-4前		1								兼1	
スペイン語3B	2-3-4前		1								兼1	
スペイン語4A	2-3-4後		1								兼1	
スペイン語4B	2-3-4後		1								兼1	
実践英会話1	3-4前		1								兼1	
実践英会話2	3-4後		1								兼1	
実用英語1	3-4前		1								兼1	
実用英語2	3-4後		1								兼1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	学びとキャリア	1前	2									兼5
	データサイエンスリテラシー	1前-後	2					1				兼2
	世界の言葉と文化を知る	1前	2									兼7
	健康スポーツ科学論	1前-後	2									兼1
	英語1A	1前		1								兼1
	英語1B	1前		1								兼1
	英語2A	1後		1								兼1
	英語2B	1後		1								兼1
	ドイツ語1A	1前		1								兼1
	ドイツ語1B	1前		1								兼1
	ドイツ語2A	1後		1								兼1
	ドイツ語2B	1後		1								兼1
	フランス語1A	1前		1								兼1
	フランス語1B	1前		1								兼1
	フランス語2A	1後		1								兼1
	フランス語2B	1後		1								兼1
	中国語1A	1前		1								兼1
	中国語1B	1前		1								兼1
	中国語2A	1後		1								兼1
	中国語2B	1後		1								兼1
	韓国語1A	1前		1								兼1
	韓国語1B	1前		1								兼1
	韓国語2A	1後		1								兼1
	韓国語2B	1後		1								兼1
	スペイン語1A	1前		1								兼1
	スペイン語1B	1前		1								兼1
	スペイン語2A	1後		1								兼1
	スペイン語2B	1後		1								兼1
	英語3A	2-3-4前		1								兼1
	英語3B	2-3-4前		1								兼1
	英語4A	2-3-4後		1								兼1
	英語4B	2-3-4後		1								兼1
	ドイツ語3A	2-3-4前		1								兼1
	ドイツ語3B	2-3-4前		1								兼1
	ドイツ語4A	2-3-4後		1								兼1
	ドイツ語4B	2-3-4後		1								兼1
	フランス語3A	2-3-4前		1								兼1
	フランス語3B	2-3-4前		1								兼1
	フランス語4A	2-3-4後		1								兼1
	フランス語4B	2-3-4後		1								兼1
中国語3A	2-3-4前		1								兼1	
中国語3B	2-3-4前		1								兼1	
中国語4A	2-3-4後		1								兼1	
中国語4B	2-3-4後		1								兼1	
韓国語3A	2-3-4前		1								兼1	
韓国語3B	2-3-4前		1								兼1	
韓国語4A	2-3-4後		1								兼1	
韓国語4B	2-3-4後		1								兼1	
スペイン語3A	2-3-4前		1								兼1	
スペイン語3B	2-3-4前		1								兼1	
スペイン語4A	2-3-4後		1								兼1	
スペイン語4B	2-3-4後		1								兼1	
実践英会話1	3-4前		1								兼1	
実践英会話2	3-4後		1								兼1	
実用英語1	3-4前		1								兼1	
実用英語2	3-4後		1								兼1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	中級ドイツ語1	3・4前	1								兼1
	中級ドイツ語2	3・4後	1								兼1
	上級ドイツ語1	4前	1								兼1
	上級ドイツ語2	4後	1								兼1
	中級フランス語1	3・4前	1								兼1
	中級フランス語2	3・4後	1								兼1
	上級フランス語1	4前	1								兼1
	上級フランス語2	4後	1								兼1
	中級中国語1	3・4前	1								兼1
	中級中国語2	3・4後	1								兼1
	上級中国語1	4前	1								兼1
	上級中国語2	4後	1								兼1
	中級韓国語1	3・4前	1								兼1
	中級韓国語2	3・4後	1								兼1
	上級韓国語1	4前	1								兼1
	上級韓国語2	4後	1								兼1
	中級スペイン語1	3・4前	1								兼1
	中級スペイン語2	3・4後	1								兼1
	上級スペイン語1	4前	1								兼1
	上級スペイン語2	4後	1								兼1
	海外語学研修A	1・2・3・4前	2								兼1
	海外語学研修B	2・3・4前	2								兼1
	多摩と生活	1・2・3・4後	2								兼4
	多摩を歩く	1・2・3・4後	2								兼1
	多摩と自然	1・2・3・4前	2								兼1
	大学論	1・2・3・4前	2								兼3
	体育スポーツ科学実践A	1・2・3・4前	1								兼3
	体育スポーツ科学実践B	1・2・3・4後	1								兼4
	現代スポーツ論	1・2・3・4前	2								兼1
	身体論	1・2・3・4後	2								兼3
	物理学で読み解く世界	1・2・3・4前	2								兼1
	生活の中の化学	1・2・3・4後	2								兼1
	生物学から見える世界	1・2・3・4前	2								兼1
	地球惑星学	1・2・3・4後	2								兼1
	数学で社会を見る	1・2・3・4前	2								兼1
	科学技術が作り出す世界	1・2・3・4後	2								兼1
	私たちの暮らしと環境科学	1・2・3・4前	2								兼1
	現代社会と工学	1・2・3・4後	2								兼1
	情報の活用と倫理	1・2・3・4前	2								兼5
	地理学で知る生活・文化・環境	1・2・3・4後	2								兼1
現代社会の仕組み	1・2・3・4前	2								兼1	
政治学から見える社会	1・2・3・4後	2								兼1	
国際関係を読み解く	1・2・3・4前	2								兼1	
社会に生きる私たちの人権	1・2・3・4後	2								兼1	
ジェンダーを考える	1・2・3・4前	2								兼1	
図書館の基礎と展望	1・2・3・4後	2								兼1	
現代経済への視点	1・2・3・4前	2								兼1	
日本国憲法	1・2・3・4後	2								兼1	
法学から見える社会	1・2・3・4前	2								兼1	
グローバル時代の経営	1・2・3・4後	2								兼1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	中級ドイツ語1	3・4前	1								兼1
	中級ドイツ語2	3・4後	1								兼1
	上級ドイツ語1	4前	1								兼1
	上級ドイツ語2	4後	1								兼1
	中級フランス語1	3・4前	1								兼1
	中級フランス語2	3・4後	1								兼1
	上級フランス語1	4前	1								兼1
	上級フランス語2	4後	1								兼1
	中級中国語1	3・4前	1								兼1
	中級中国語2	3・4後	1								兼1
	上級中国語1	4前	1								兼1
	上級中国語2	4後	1								兼1
	中級韓国語1	3・4前	1								兼1
	中級韓国語2	3・4後	1								兼1
	上級韓国語1	4前	1								兼1
	上級韓国語2	4後	1								兼1
	中級スペイン語1	3・4前	1								兼1
	中級スペイン語2	3・4後	1								兼1
	上級スペイン語1	4前	1								兼1
	上級スペイン語2	4後	1								兼1
	海外語学研修A	1・2・3・4前	2								兼5
	海外語学研修B	2・3・4前	2								兼1
	多摩と生活	1・2・3・4後	2								兼4
	多摩を歩く	1・2・3・4後	2								兼1
	多摩と自然	1・2・3・4前	2								兼1
	大学論	1・2・3・4前	2								兼3
	体育スポーツ科学実践A	1・2・3・4後	1								兼5
	体育スポーツ科学実践B	1・2・3・4前	1								兼5
	現代スポーツ論	1・2・3・4後	2								兼1
	身体論	1・2・3・4前	2								兼3
	物理学で読み解く世界	1・2・3・4後	2								兼1
	生活の中の化学	1・2・3・4前	2								兼1
	生物学から見える世界	1・2・3・4後	2								兼1
	地球惑星学	1・2・3・4前	2								兼1
	数学で社会を見る	1・2・3・4後	2								兼1
	科学技術が作り出す世界	1・2・3・4前	2								兼1
	私たちの暮らしと環境科学	1・2・3・4後	2								兼1
	現代社会と工学	1・2・3・4前	2								兼1
	情報の活用と倫理	1・2・3・4後	2								兼5
	地理学で知る生活・文化・環境	1・2・3・4前	2								兼1
現代社会の仕組み	1・2・3・4後	2								兼1	
政治学から見える社会	1・2・3・4前	2								兼1	
国際関係を読み解く	1・2・3・4後	2								兼1	
社会に生きる私たちの人権	1・2・3・4前	2								兼1	
ジェンダーを考える	1・2・3・4後	2								兼1	
図書館の基礎と展望	1・2・3・4前	2								兼2	
現代経済への視点	1・2・3・4後	2								兼1	
日本国憲法	1・2・3・4前	2								兼1	
法学から見える社会	1・2・3・4後	2								兼1	
グローバル時代の経営	1・2・3・4前	2								兼1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	情報社会文化論	1-2-3-4期	2								兼1
	統計から見える世界	1-2-3-4期	2								兼1
	教育と21世紀の社会	1-2-3-4期	2								兼1
	生涯学習論	1-2-3-4期	2								兼1
	ボランティア論	1-2-3-4期	2								兼1
	テーマで学ぶ歴史	1-2-3-4期	2								兼1
	グローバル・ヒストリー	1-2-3-4期	2								兼1
	日本の歴史と文化	1-2-3-4期	2								兼1
	日本文化の深層	1-2-3-4期	2								兼1
	哲学から考える人間	1-2-3-4期	2								兼1
	哲学から考える世界	1-2-3-4期	2								兼1
	宗教と人間	1-2-3-4期	2								兼1
	遺物が語る世界	1-2-3-4期	2								兼1
	世界の人々の生活と文化	1-2-3-4期	2								兼1
	芸術の見方	1-2-3-4期	2								兼1
	文学の世界に浸る	1-2-3-4期	2								兼1
	人間と言葉	1-2-3-4期	2								兼1
	心理学と人々の行動	1-2-3-4期	2								兼1
	都市と建築	1-2-3-4期	2								兼4
	音楽と社会・文化の結びつき	1-2-3-4期	2								兼1
	地域研究(イスラム世界)	1-2-3-4期	2								兼1
	地域研究(アジア)	1-2-3-4期	2								兼1
	地域研究(アメリカ)	1-2-3-4期	2								兼2
	地域研究(アフリカ)	1-2-3-4期	2								兼2
	地域研究(ヨーロッパ)	1-2-3-4期	2								兼2
	食から見えるからだ文化	1-2-3-4期	2								兼1
	学問の世界	1-2-3-4期	2								兼7
	人類とその環境	1-2-3-4期	2								兼2
	戦争と安全保障	1-2-3-4期	2								兼4
	現代社会と平和	1-2-3-4期	2								兼6
	気候と人口の問題	1-2-3-4期	2				1				兼2
	ポスト経済成長時代の未来論	1-2-3-4期	2								兼3
	社会の中の法	1-2-3-4期	2								兼3
	宗教から見える現代社会	1-2-3-4期	2								兼2
	アートとアートの境界線	1-2-3-4期	2								兼3
世界の芸術のその深層	1-2-3-4期	2								兼4	
創造される歴史と人々が紡ぐ歴史	1-2-3-4期	2								兼2	
21世紀の社会像を描く	1-2-3-4期	2				1				兼4	
ELSI(科学技術における倫理的・法的・社会的課題)	1-2-3-4期	2								兼2	
これからのエネルギーとその利用	1-2-3-4期	2								兼2	
文学作品のメタファー	1-2-3-4期	2								兼4	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	情報社会文化論 (未開講)	1-2-3-4期	2								兼1
	統計から見える世界	1-2-3-4期	2								兼1
	教育と21世紀の社会	1-2-3-4期	2								兼1
	生涯学習論	1-2-3-4期	2								兼1
	ボランティア論	1-2-3-4期	2								兼1
	テーマで学ぶ歴史	1-2-3-4期	2								兼1
	グローバル・ヒストリー	1-2-3-4期	2								兼1
	日本の歴史と文化	1-2-3-4期	2								兼1
	日本文化の深層	1-2-3-4期	2								兼1
	哲学から考える人間	1-2-3-4期	2								兼1
	哲学から考える世界	1-2-3-4期	2								兼1
	宗教と人間	1-2-3-4期	2								兼1
	遺物が語る世界	1-2-3-4期	2								兼1
	世界の人々の生活と文化	1-2-3-4期	2								兼1
	芸術の見方	1-2-3-4期	2								兼1
	文学の世界に浸る	1-2-3-4期	2								兼1
	人間と言葉	1-2-3-4期	2								兼1
	心理学と人々の行動	1-2-3-4期	2								兼1
	都市と建築	1-2-3-4期	2								兼4
	音楽と社会・文化の結びつき	1-2-3-4期	2								兼1
	地域研究(イスラム世界)	1-2-3-4期	2								兼1
	地域研究(アジア)	1-2-3-4期	2								兼1
	地域研究(アメリカ)	1-2-3-4期	2								兼2
	地域研究(アフリカ)	1-2-3-4期	2								兼2
	地域研究(ヨーロッパ)	1-2-3-4期	2								兼2
	食から見えるからだ文化	1-2-3-4期	2								兼1
	学問の世界	1-2-3-4期	2								兼7
	人類とその環境	1-2-3-4期	2								兼2
	戦争と安全保障	1-2-3-4期	2								兼3
	現代社会と平和	1-2-3-4期	2								兼6
	気候と人口の問題	1-2-3-4期	2				1				兼2
	ポスト経済成長時代の未来論	1-2-3-4期	2								兼2
	社会の中の法	1-2-3-4期	2								兼2
	宗教から見える現代社会	1-2-3-4期	2								兼2
	アートとアートの境界線	1-2-3-4期	2								兼3
世界の芸術のその深層	1-2-3-4期	2								兼4	
創造される歴史と人々が紡ぐ歴史	1-2-3-4期	2								兼2	
21世紀の社会像を描く	1-2-3-4期	2						1		兼3	
ELSI(科学技術における倫理的・法的・社会的課題)	1-2-3-4期	2								兼2	
これからのエネルギーとその利用	1-2-3-4期	2								兼2	
文学作品のメタファー	1-2-3-4期	2								兼4	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	都市という空間	1・2・3・4前	2			1						兼3
	ことばと文化の結びつき	1・2・3・4後	2									兼2
	母語から見える世界と外国語から見える世界	1・2・3・4前	2									兼3
	ことばの窓から広がる世界	1・2・3・4後	2									兼3
	スポーツと外国語	1・2・3・4前	2									兼3
	世界の身体文化	1・2・3・4後	2									兼3
	スポーツを通して地域を学ぶ	1・2・3・4前	2									兼2
	スポーツとテクノロジー	1・2・3・4後	2									兼2
	境界線上の日本学	1・2・3・4前	2									兼1
	ダイバーシティ&インクルージョン	1・2・3・4後	2									兼1
	サステナビリティと人類社会	1・2・3・4前	2									兼1
	教養ゼミ1	3・4前	2									兼6
教養ゼミ2	3・4後	2									兼6	
教養ゼミ3	4前	2									兼6	
教養ゼミ4	4後	2									兼6	
小計(162科目)	—	8	242	0	1	2	0	0	0		兼83	
全学共通キャリア形成科目	社会とキャリア	1後	2									兼5
	仕事とキャリア	2後	2									兼4
	キャリアデザイン基礎	2前	2									兼5
	キャリアデザイン応用	2後	2									兼5
	キャリアアップ	4後	2									兼2
小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0		兼5	
学科等科目	データサイエンス概論1	1前	2			1						
	データサイエンス概論2	1後	2			4						
	基礎解析学1	1前	2			1						
	基礎解析学2	1後	2			1						
	線型代数学1	1前	2			1						
	線型代数学2	1後	2			1						
	統計学1	1前	2			1						
	統計学2	1後	2			1						
	プログラミング概論	1前	2			1						
	プログラミング演習	1後	2				2					
	回帰分析	2前	2			1						
	多変量解析	2後	2			1						
	AI・機械学習1	2前	2			1						
	AI・機械学習2	2後	2			1						
	情報学基礎	1前	2			2						兼1
	情報セキュリティ入門	1後	2									兼1
	情報倫理	1後	2									兼3
	アルゴリズムとデータ構造1	2前	2									兼1
	アルゴリズムとデータ構造2	2後	2									兼2
	統計の数理	2前	2			1						
解析学	2前	2									兼1	
応用統計学	2後	2			1							
データベース工学	2後	2									兼1	
離散数学A	3前	2			1							
離散数学B	3後	2			1							

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	都市という空間	1・2・3・4前	2			1						兼3
	ことばと文化の結びつき	1・2・3・4後	2									兼2
	母語から見える世界と外国語から見える世界	1・2・3・4前	2									兼3
	ことばの窓から広がる世界	1・2・3・4後	2									兼3
	スポーツと外国語	1・2・3・4前	2									兼3
	世界の身体文化	1・2・3・4後	2									兼3
	スポーツを通して地域を学ぶ	1・2・3・4前	2									兼2
	スポーツとテクノロジー	1・2・3・4後	2									兼3
	境界線上の日本学	1・2・3・4前	2									兼2
	ダイバーシティ&インクルージョン	1・2・3・4後	2									兼2
	サステナビリティと人類社会	1・2・3・4前	2									兼2
	教養ゼミ1	3・4前	2									兼6
教養ゼミ2	3・4後	2									兼6	
教養ゼミ3	4前	2									兼6	
教養ゼミ4	4後	2									兼6	
小計(162科目)	—	8	242	0	2	1	0	0	0		兼93	
全学共通キャリア形成科目	社会とキャリア	1後	2									兼5
	仕事とキャリア	2後	2									兼4
	キャリアデザイン基礎	2前	2									兼5
	キャリアデザイン応用	2後	2									兼5
	働き方とキャリア	4後	2									兼2
小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0		兼5	
学科等科目	データサイエンス概論1	1前	2			1						
	データサイエンス概論2	1後	2			4						
	基礎解析学1	1前	2			1						
	基礎解析学2	1後	2			1						
	線型代数学1	1前	2			1						
	線型代数学2	1後	2			1						
	統計学1	1前	2			1						
	統計学2	1後	2			1						
	プログラミング概論	1前	2			1						
	プログラミング演習	1後	2				2					1
	回帰分析	2前	2			1						
	多変量解析	2後	2			1						
	AI・機械学習1	2前	2			1						
	AI・機械学習2	2後	2			1						
	情報学基礎	1前	2			2						兼2
	情報セキュリティ入門	1後	2									兼1
	情報倫理	1後	2									兼3
	アルゴリズムとデータ構造1	2前	2									兼1
	アルゴリズムとデータ構造2	2後	2									兼2
	統計の数理	2前	2			1						
解析学	2前	2									兼1	
応用統計学	2後	2			1							
データベース工学	2後	2									兼1	
離散数学A	3前	2			1							
離散数学B	3後	2			1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科等科目	コンピュータネットワーク	3前	2								兼1
	プロジェクトマネジメント	3後	2								兼1
	次世代技術	3後	2			1					
	コンピュータアーキテクチャ	2前	2			1					
	画像処理	2後	2				1				
	インタラクティブシステム	3前	2								兼1
	オーディオプロセッシング	3前	2			1					
	人工知能	3前	2				1				
	自然言語処理	3後	2				1				
	解析力学	2前	2								兼1
	量子力学1	2前	2								兼1
	量子力学2	2後	2								兼1
	量子力学3	3前	2								兼1
	応用解析	3前	2								兼1
	機械工学概論	2後	2			1					兼6
	知能情報工学	2後	2								兼1
	知能ロボティクス	3前	2			1					
	機械情報処理	3前	2								兼1
	制御工学	3後	2			1					
	機械制御プログラミング	3後	2			1					
	気象・熱環境学	2後	2			1					
	大気科学	2後	2				1				
	地球環境学	2後	2				1				
	宇宙工学入門	3前	2			1					
	地球環境データサイエンス	3前	2			1	2				
	経済学入門1	2前	2			1					
	経済学入門2	2後	2			1					
	マクロ経済学1	3前	2								兼1
	マクロ経済学2	3後	2								兼1
	ミクロ経済学1	3前	2								兼1
	ミクロ経済学2	3後	2								兼1
	ファイナンス1	3前	2			1					
ファイナンス2	3後	2			1						
計量経済学	3前	2			1						
都市経済学1	4前	2				1					
都市経済学2	4後	2				1					
データサイエンス演習1	2前	2			1	1					
データサイエンス演習2	2後	2				2					
データサイエンス演習3	3前	2				7	3				
データサイエンス演習4	3後	2				7	4				
データサイエンス実践1	2前	1			1	1					
データサイエンス実践2	3前	1				2					
卒業研究	4通	8				13	7				
小計(68科目)	-	44	96	0	13	7	0	0	0	兼25	
合計(235科目)	-	52	348	0	13	7	0	0	0	兼109	
卒業要件及び履修方法											
卒業要件: 全学共通科目32単位以上、学科等科目92単位以上、合計124単位以上。 履修科目の登録の上限: 45単位(年間)											

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科等科目	コンピュータネットワーク	3前	2								兼1
	プロジェクトマネジメント	3後	2								兼1
	次世代技術	3後	2			1					
	コンピュータアーキテクチャ	2前	2			1					
	画像処理	2後	2				1				
	インタラクティブシステム	3前	2								兼1
	オーディオプロセッシング	3前	2			1					
	人工知能	3前	2				1				
	自然言語処理	3後	2				1				
	解析力学	2前	2								兼1
	量子力学1	2前	2								兼1
	量子力学2	2後	2								兼1
	量子力学3	3前	2								兼1
	応用解析	3前	2								兼1
	機械工学概論	2後	2			1					兼6
	知能情報工学	2後	2								兼1
	知能ロボティクス	3前	2			1					
	機械情報処理	3前	2								兼1
	制御工学	3後	2			1					
	機械制御プログラミング	3後	2			1					
	気象・熱環境学	2後	2			1					
	大気科学	2後	2				1				
	地球環境学	2後	2				1				
	宇宙工学入門	3前	2			1					
	地球環境データサイエンス	3前	2				2	1			
	経済学入門1	2前	2			1					
	経済学入門2	2後	2			1					
	マクロ経済学1	3前	2								兼1
	マクロ経済学2	3後	2								兼1
	ミクロ経済学1	3前	2								兼1
	ミクロ経済学2	3後	2								兼1
	ファイナンス1	3前	2			1					
ファイナンス2	3後	2			1						
計量経済学	3前	2			1						
都市経済学1	4前	2				1					
都市経済学2	4後	2				1					
データサイエンス演習1	2前	2			1	1					
データサイエンス演習2	2後	2				2					
データサイエンス演習3	3前	2				7	3				
データサイエンス演習4	3後	2				8	3				
データサイエンス実践1	2前	1			1	1					
データサイエンス実践2	3前	1				2					
卒業研究	4通	8				14	6				
小計(68科目)	-	44	96	0	14	6	0	0	0	兼26	
合計(235科目)	-	52	348	0	14	7	0	0	0	兼118	
卒業要件及び履修方法											
卒業要件: 全学共通科目32単位以上、学科等科目92単位以上、合計124単位以上。 履修科目の登録の上限: 45単位(年間)											

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・全学的なカリキュラム改正に伴う教員配置の見直しにより、「データサイエンスリテラシー」の専任教員等の配置を「兼5」から、「准教授1」「兼2」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う教育効果向上のため、「世界の言葉と文化を知る」の専任教員等の配置を「兼6」から、「兼7」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う教員配置の見直しにより、「健康スポーツ科学論」の専任教員等の配置を「兼2」から、「兼1」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う教育効果向上のため、「海外語学研修A」の専任教員等の配置を「兼1」から、「兼5」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「体育スポーツ科学実践A」の配当年次を「1・2・3・4前」から、「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う教員配置の見直しにより、「体育スポーツ科学実践A」の専任教員等の配置を「兼3」から、「兼5」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「体育スポーツ科学実践B」の配当年次を「1・2・3・4後」から、「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う教員配置の見直しにより、「体育スポーツ科学実践B」の専任教員等の配置を「兼4」から、「兼5」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「地理学で知る生活・文化・環境」の配当年次を「1・2・3・4前」から、「1・2・3・4後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「国際関係を読み解く」の配当年次を「1・2・3・4前」から、「1・2・3・4後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う教員間の負担格差解消のため、「図書館の基礎と展望」の専任教員等の配置を「兼1」から、「兼2」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「日本国憲法」の配当年次を「1・2・3・4前」から、「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「ボランティア論」の配当年次を「1・2・3・4後」から、「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「テーマで学ぶ歴史」の配当年次を「1・2・3・4前」から、「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「芸術の見方」の配当年次を「1・2・3・4後」から、「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「人間と言葉」の配当年次を「1・2・3・4後」から、「1・2・3・4前」に変更。
- ・担当教員が学外研究による不在のため、「戦争と安全保障」の専任教員等の配置を「兼4」から、「兼3」に変更。
- ・担当教員が学外研究による不在のため、「ポスト経済成長時代の未来論」の専任教員等の配置を「兼3」から、「兼2」に変更。
- ・担当教員が学外研究による不在のため、「社会の中の法」の専任教員等の配置を「兼3」から、「兼2」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「宗教から見える現代社会」の配当年次を「1・2・3・4前」から、「1・2・3・4後」に変更。
- ・専任教員職位変更および担当教員が学外研究による不在のため、「21世紀の社会像を描く」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼4」から、「教授1」「兼3」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う教員間の負担格差解消のため、「スポーツとテクノロジー」の専任教員等の配置を「兼2」から、「兼3」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「境界線上の日本学」の配当年次を「1・2・3・4前」から、「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う授業内容の見直しにより、オムニバスでの開講としたため、「境界線上の日本学」の専任教員等の配置を「兼1」から、「兼2」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う授業内容の見直しにより、オムニバスでの開講としたため、「ダイバーシティ&インクルージョン」の専任教員等の配置を「兼1」から、「兼2」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う時間割の見直しにより、「サステナビリティと人類社会」の配当年次を「1・2・3・4前」から、「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴う授業内容の見直しにより、オムニバスでの開講としたため、「サステナビリティと人類社会」の専任教員等の配置を「兼1」から、「兼2」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正に伴い、授業内容に即した科目名にするため、「キャリアアップ」の授業科目の名称を「働き方とキャリア」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「プログラミング演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から、「准教授1」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「情報学基礎」の専任教員等の配置を「教授2」「兼1」から、「教授1」「兼2」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「大気科学」の専任教員等の配置を「准教授1」から、「教授1」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「地球環境データサイエンス」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から、「教授2」「准教授1」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「データサイエンス演習4」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授4」から、「教授8」「准教授3」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授7」から、「教授14」「准教授6」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	211 科目	0 科目	235 科目	24 科目 [0]	211 科目 [0]	0 科目 [0]	235 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	情報社会文化論	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の体調不良による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>・ 未開講科目は、開講直前に担当教員が体調不良になったため、代替措置を講じることが出来なかったが、次年度は開講する。学生に対しては、履修登録前に修学支援システム等を通じて周知を図った。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{235} = \boxed{0.42} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	879,386㎡	0㎡	0㎡	879,386㎡		
	運動場用地	168,634㎡	0㎡	0㎡	168,634㎡		
	小 計	1,048,020㎡	0㎡	0㎡	1,048,020㎡		
	そ の 他	37,987㎡	0㎡	0㎡	37,987㎡		
	合 計	1,086,007㎡	0㎡	0㎡	1,086,007㎡		
(2) 校 舎	専 用	209,388㎡	0㎡	0㎡	209,388㎡		
	(209,388㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(209,388㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	106室 119室	演 習 室 239室 273室	実験実習室 241室 294室	情報処理学習施設 5室 19室 (補助職員 6人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	
	講義室、演習室、実験実習室、情報処理学習施設は、校舎改修及び使用教室の見直しによる減(5)						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		令和5年4月専任准教授1名を新規採用のため(5)	
	データサイエンス学環			21 20 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル			
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
	データサイエンス学環	729,320 [266,139] 865,515 [346,878] (729,320 [266,139]) (865,515 [346,878])	8,250 [5,971] 8,463 [6,217] (8,250 [5,971]) (8,463 [6,217])	4,925 [4,822] 5,149 [5,071] (4,925 [4,822]) (5,149 [5,071])	6,803 7,808 (6,803) (7,808)	8,838 9,221 (8,838) (9,221)	72 63 (72) (63)
計	729,320 [266,139] 865,515 [346,878] (729,320 [266,139]) (865,515 [346,878])	8,250 [5,971] 8,463 [6,217] (8,250 [5,971]) (8,463 [6,217])	4,925 [4,822] 5,149 [5,071] (4,925 [4,822]) (5,149 [5,071])	6,803 7,808 (6,803) (7,808)	8,838 9,221 (8,838) (9,221)	72 63 (72) (63)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	16,865㎡		828席 862席		1,563,400冊		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	9,822㎡		野球場		テニスコート		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	550千円	550千円	図書購入費	45,000千円	45,000千円
	共 同 研 究 費 等	36,000千円	36,000千円	設備購入費	20,000千円	20,000千円	20,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,580千円	1,380千円	1,380千円	1,380千円	-千円	-千円
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、補助金収入 等				

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	明星大学										1	2	1	3
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
理工学部	4	280 (10)	-	1,120 (10)	-	1.01	-	1.05	0.97	令和5	昭和39			
総合理工学科	4	280 (10)	-	1,120 (10)	学士 (理学) 学士 (工学)	1.01	-	1.05	0.97	令和5	平成22	東京都日野市程久保2丁目1番地1	令和5年度より入学定員10人を内数で学環へ提出	
人文学部	4	340	-	1,360	-	0.97	-	0.99	-	-	昭和40			
国際コミュニケーション学科	4	100	-	400	学士 (国際コミュニケーション学)	0.88	-	0.89	-	-	平成17	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
人間社会学科	4	80	-	320	学士 (社会学)	1.11	-	1.14	1.10	-	昭和40	同上		
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	-	-	平成22	同上	平成29年度入学生より学生募集停止	
日本文化学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.01	-	1.06	1.00	-	平成22	同上		
福祉実践学科	4	60	-	240	学士 (社会福祉学)	0.87	-	0.87	-	-	平成22	同上		
経済学部	4	260 (10)	-	1,040 (10)	-	0.97	-	0.99	-	令和5	平成13			
経済学科	4	260 (10)	-	1,040 (10)	学士 (経済学)	0.97	-	0.99	-	令和5	平成13	東京都日野市程久保2丁目1番地1	令和5年度より入学定員10人を内数で学環へ提出	
情報学部	4	140 (10)	-	560 (10)	-	1.12	-	1.20	1.11	令和5	平成4			
情報学科	4	140 (10)	-	560 (10)	学士 (情報)	1.12	-	1.20	1.11	令和5	平成17	東京都日野市程久保2丁目1番地1	令和5年度より入学定員10人を内数で学環へ提出	
教育学部	4	350	-	1,400	-	1.13	1.13	1.16	1.13	-	平成22			
教育学科	4	350	-	1,400	学士 (教育学)	1.13	1.13	1.16	1.13	-	平成22	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
経営学部	4	200	-	800	-	1.11	-	1.11	1.10	-	平成24			
経営学科	4	200	-	800	学士 (経営学)	1.11	-	1.11	1.10	-	平成24	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
デザイン学部	4	120	-	480	-	1.11	-	1.14	1.10	-	平成26			
デザイン学科	4	120	-	480	学士 (デザイン学)	1.11	-	1.14	1.10	-	平成26	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
心理学部	4	120	-	480	-	1.17	-	1.19	1.14	-	平成29			
心理学科	4	120	-	480	学士 (心理学)	1.17	-	1.19	1.14	-	平成29	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
建築学部	4	120	-	480	-	1.17	-	1.14	-	-	令和2			
建築学科	4	120	-	480	学士 (建築学)	1.17	-	1.14	-	-	令和2	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
データサイエンス学環	4	(30)	-	(30)	学士 (データサイエンス)	-	-	-	-	-	令和5	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
大学(通学課程)全体	4	1,930	-	7,720	-	-	-	-	-	-	-	-		

教育学部	4	2,000	-	8,000	-	0.03	-	0.39	-	-	平成22	
教育学科 (通信課程)	4	2,000	-	8,000	学士 (教育学)	0.03	-	0.39	-	-	平成22	東京都日野市程久保2丁目1番地1
大学(通信課程)全体	4	2,000	-	8,000	-	-	-	-	-	-	-	-

注：理工学部、経済学部、情報学部の入学定員及び収容定員の（ ）は、データサイエンス学環の内数とする定員数を示す。

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<データサイエンス学環>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学環長)	篠原 聡 <令和5年4月> 博士(経営工学)	データサイエンス概論2 ※ 情報学基礎 ※ 離散数学A 離散数学B データサイエンス演習4 ※ 卒業研究
専	教授	亀卦川 幸浩 <令和5年4月> 博士(工学)	都市という空間 ※ 気象・熱環境学 地球環境データサイエンス ※ データサイエンス演習3 ※ 卒業研究
専	教授	小暮 淳 <令和5年4月> 博士(科学)	データサイエンス概論1 線型代数学1 線型代数学2 データサイエンス実践1 データサイエンス演習2 データサイエンス演習3 次世代技術 卒業研究
専	教授	坂本 智幸 <令和5年4月> 博士(学術)	経済学入門1 経済学入門2 計量経済学 データサイエンス演習3 ※ 卒業研究
専	教授	富澤 貞男 <令和5年4月> 理学博士	統計学1 統計学2 統計の数理 データサイエンス演習1 応用統計学 データサイエンス実践2 データサイエンス演習4 卒業研究
専	教授	福田 光一 <令和5年4月> 博士(工学)	データサイエンス概論2 ※ データサイエンス演習4 ※ 卒業研究
専	教授	宮村 典秀 <令和5年4月> 博士(工学)	宇宙工学入門 機械制御プログラミング データサイエンス演習4 ※ 卒業研究
専	教授	宮脇 健太郎 <令和5年4月> 博士(工学)	データサイエンス概論2 ※ データサイエンス演習3 ※ 卒業研究
専	教授	屋並 仁史 <令和5年4月> 博士(機能数理学)	基礎解析学1 基礎解析学2 AI・機械学習1 AI・機械学習2 データサイエンス演習2 データサイエンス演習3 データサイエンス実践2 卒業研究
専	教授	山崎 芳昭 <令和5年4月> 博士(工学)	機械工学概論 ※ 制御工学 知能ロボティクス データサイエンス演習4 ※ 卒業研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学環長)	篠原 聡 <令和5年4月> 博士(経営工学)	データサイエンス概論2 ※ 離散数学A 離散数学B データサイエンス演習4 ※ 卒業研究
専	教授	亀卦川 幸浩 <令和5年4月> 博士(工学)	都市という空間 ※ 気象・熱環境学 地球環境データサイエンス ※ データサイエンス演習3 ※ 卒業研究
専	教授	小暮 淳 <令和5年4月> 博士(科学)	データサイエンス概論1 線型代数学1 線型代数学2 データサイエンス実践1 データサイエンス演習2 データサイエンス演習3 次世代技術 卒業研究
専	教授	坂本 智幸 <令和5年4月> 博士(学術)	経済学入門1 経済学入門2 計量経済学 データサイエンス演習3 ※ 卒業研究
専	教授	富澤 貞男 <令和5年4月> 理学博士	統計学1 統計学2 統計の数理 データサイエンス演習1 応用統計学 データサイエンス実践2 データサイエンス演習4 卒業研究
専	教授	福田 光一 <令和5年4月> 博士(工学)	データサイエンス概論2 ※ データサイエンス演習4 ※ 卒業研究
専	教授	宮村 典秀 <令和5年4月> 博士(工学)	宇宙工学入門 機械制御プログラミング データサイエンス演習4 ※ 卒業研究
専	教授	宮脇 健太郎 <令和5年4月> 博士(工学)	データサイエンス概論2 ※ データサイエンス演習3 ※ 卒業研究
専	教授	屋並 仁史 <令和5年4月> 博士(機能数理学)	基礎解析学1 基礎解析学2 AI・機械学習1 AI・機械学習2 データサイエンス演習2 データサイエンス演習3 データサイエンス実践2 卒業研究
専	教授	山崎 芳昭 <令和5年4月> 博士(工学)	機械工学概論 ※ 制御工学 知能ロボティクス データサイエンス演習4 ※ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	横田 宏治 <令和5年4月> 博士(経済学)	専	教授	横田 宏治 <令和5年4月> 博士(経済学)
		データサイエンス概論 2 ※ ファイナンス1 ※ データサイエンス演習 3 ※ ファイナンス2 ※ データサイエンス演習 4 ※ 卒業研究			データサイエンス概論 2 ※ ファイナンス1 ※ データサイエンス演習 3 ※ ファイナンス2 ※ データサイエンス演習 4 ※ 卒業研究
専	教授	横山 真男 <令和5年4月> 博士(工学)	専	教授	横山 真男 <令和5年4月> 博士(工学)
		プログラミング概論 オーディオプロセッシング データサイエンス演習 4 ※ 卒業研究			プログラミング概論 オーディオプロセッシング データサイエンス演習 4 ※ 卒業研究
専	教授	和田 康孝 <令和5年4月> 博士(工学)	専	教授	和田 康孝 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報学基礎 ※ コンピュータアーキテク チャ データサイエンス演習 3 ※ 卒業研究			情報学基礎 ※ コンピュータアーキテク チャ データサイエンス演習 3 ※ 卒業研究
専	准教授	植木 一也 <令和5年4月> 博士(工学)	専	准教授	植木 一也 <令和5年4月> 博士(工学)
		画像処理 人工知能 データサイエンス演習 4 ※ 卒業研究			画像処理 人工知能 データサイエンス演習 4 ※ 卒業研究
			専	准教授	河原 弘伸 <令和5年4月> 学士(教養)
					データサイエンスリテラ シー
専	准教授	小林 健太郎 <令和5年4月> 博士(経済学)	専	准教授	小林 健太郎 <令和5年4月> 博士(経済学)
		データサイエンス演習 4 ※ 都市経済学 1 ※ 都市経済学 2 ※ 卒業研究			データサイエンス演習 4 ※ 都市経済学 1 ※ 都市経済学 2 ※ 卒業研究
専	准教授	櫻井 達也 <令和5年4月> 博士(理学)	専	教授	櫻井 達也 <令和5年4月> 博士(理学)
		21世紀の社会像を描く ※ 大気科学 地球環境データサイエンス ※ データサイエンス演習 4 ※ 卒業研究			21世紀の社会像を描く ※ 大気科学 地球環境データサイエンス ※ データサイエンス演習 4 ※ 卒業研究
専	准教授	中川 智之 <令和5年4月> 博士(理学)	専	准教授	中川 智之 <令和5年4月> 博士(理学)
		プログラミング演習 回帰分析 データサイエンス演習 1 データサイエンス実践 1 多変量解析 データサイエンス演習 4 卒業研究			プログラミング演習 回帰分析 データサイエンス演習 1 データサイエンス実践 1 多変量解析 データサイエンス演習 4 卒業研究
専	准教授	柳川 亜季 <令和5年4月> 博士(農学)	専	准教授	柳川 亜季 <令和5年4月> 博士(農学)
		気候と人口の問題 ※ 地球環境学 地球環境データサイエンス ※ データサイエンス演習 3 ※ 卒業研究			気候と人口の問題 ※ 地球環境学 地球環境データサイエンス ※ データサイエンス演習 3 ※ 卒業研究
専	准教授	山中 脩也 <令和5年4月> 博士(工学)	専	准教授	山中 脩也 <令和5年4月> 博士(工学)
		プログラミング演習 データサイエンス演習 3 ※ 卒業研究			データサイエンス演習 3 ※ 卒業研究
専	准教授	横野 光 <令和5年4月> 博士(工学)	専	准教授	横野 光 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンス演習 3 ※ 自然言語処理 卒業研究			データサイエンス演習 3 ※ 自然言語処理 卒業研究
兼任	教授	浅井 正行 <令和5年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	教授	浅井 正行 <令和5年4月> 博士(社会福祉学)
		21世紀の社会像を描く ※			21世紀の社会像を描く ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	尼岡 利崇 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	教授	尼岡 利崇 <令和5年4月> 博士(学術)
		インタラクティブシステム			インタラクティブシステム
兼任	教授	石田 隆張 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	石田 隆張 <令和5年4月> 博士(工学)
		これからのエネルギーとその利用 ※			これからのエネルギーとその利用 ※
兼任	教授	伊藤 雅春 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	伊藤 雅春 <令和5年4月> 博士(工学)
		都市と建築 ※			都市と建築 ※
兼任	教授	今福 一寿 <令和5年4月> 体育学士	兼任	教授	今福 一寿 <令和5年4月> 体育学士
		体育スポーツ科学実践B			体育スポーツ科学実践B スポーツとテクノロジー※
兼任	教授	上坂 保仁 <令和5年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	上坂 保仁 <令和5年4月> 修士(教育学)
		大学論 ※ 世界の芸術のその深層 ※			大学論 ※ 世界の芸術のその深層 ※
兼任	教授	上田 耕造 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	教授	上田 耕造 <令和5年4月> 博士(文学)
		テーマで学ぶ歴史 ポスト経済成長時代の未来論 ※ 人類とその環境 ※ 都市という空間 ※ 気候と人口の問題 ※ 社会の中の法 ※ 地域研究(アフリカ) ※ 地域研究(イスラーム世界)			テーマで学ぶ歴史 ポスト経済成長時代の未来論 ※ 人類とその環境 ※ 都市という空間 ※ 気候と人口の問題 ※ 社会の中の法 ※ 地域研究(アフリカ) ※ 地域研究(イスラーム世界) 21世紀の社会像を描く※
兼任	教授	臼井 雅子 <令和5年4月> 法学修士	兼任	教授	臼井 雅子 <令和5年4月> 法学修士
		社会の中の法 ※			社会の中の法 ※
兼任	教授	内田 富男 <令和5年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	内田 富男 <令和5年4月> 修士(教育学)
		英語 1 A 英語 2 A 英語 3 A 英語 4 A			英語 3 A 英語 4 A
兼任	教授	太田 昌宏 <令和5年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	太田 昌宏 <令和5年4月> 修士(教育学)
		学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア			学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア
兼任	教授	荻野 正 <令和5年4月> 工学博士	兼任	教授	荻野 正 <令和5年4月> 工学博士
		データベース工学			データベース工学
兼任	教授	加藤 めぐみ <令和5年4月> Ph.D.(米)	兼任	教授	加藤 めぐみ <令和5年4月> Ph.D.(米)
		現代社会と平和 ※			現代社会と平和 ※
兼任	教授		兼任	教授	金子 教二 <令和5年4月> 体育学修士
					体育スポーツ科学実践A 体育スポーツ科学実践B
兼任	教授	亀井 延明 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	亀井 延明 <令和5年4月> 博士(工学)
		機械工学概論 ※			機械工学概論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	川原 万人 <令和5年4月> 工学士	兼任	教授	川原 万人 <令和5年4月> 工学士
		プロジェクトマネジメント			プロジェクトマネジメント
兼任	教授	菊地 滋夫 <令和5年4月> 博士(社会人類学)	兼任	教授	菊地 滋夫 <令和5年4月> 博士(社会人類学)
		地域研究(アフリカ) ※			地域研究(アフリカ) ※
兼任	教授	金 庚芬 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	教授	金 庚芬 <令和5年4月> 博士(学術)
		韓国語1B 世界の言葉と文化を知る ※ 母語から見える世界と外国語から見える世界 ※ 韓国語2B ことばの窓から広がる世界 ※ 韓国語3B 韓国語4B 上級韓国語1 上級韓国語2 海外語学研修B			韓国語1B 世界の言葉と文化を知る ※ 母語から見える世界と外国語から見える世界 ※ 韓国語2B ことばの窓から広がる世界 ※ 韓国語3B 韓国語4B 上級韓国語1 上級韓国語2 海外語学研修A 海外語学研修B
兼任	教授	熊谷 一郎 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	教授	熊谷 一郎 <令和5年4月> 博士(理学)
		機械工学概論 ※			機械工学概論 ※
兼任	教授	熊本 博之 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	教授	熊本 博之 <令和5年4月> 博士(文学)
		現代社会と平和 ※			現代社会と平和 ※
兼任	教授	高 三徳 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	高 三徳 <令和5年4月> 博士(工学)
		機械工学概論 ※			機械工学概論 ※
兼任	教授	河内山(戸田) 晶子 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	教授	河内山(戸田) 晶子 <令和5年4月> 博士(学術)
		音楽と社会・文化の結びつき			音楽と社会・文化の結びつき
兼任	教授	小林 一岳 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	教授	小林 一岳 <令和5年4月> 博士(文学)
		日本の歴史と文化 身体論 ※ 創造される歴史と人々が紡ぐ歴史 ※ 多摩と生活 ※			日本の歴史と文化 身体論 ※ 創造される歴史と人々が紡ぐ歴史 ※ 多摩と生活 ※
兼任	教授	齊藤 剛 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	齊藤 剛 <令和5年4月> 博士(工学)
		機械工学概論 ※			機械工学概論 ※
兼任	教授	阪井 恵 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	教授	阪井 恵 <令和5年4月> 博士(学術)
		音楽と社会・文化の結びつき			音楽と社会・文化の結びつき
兼任	教授	佐々木 秀明 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	教授	佐々木 秀明 <令和5年4月> 博士(理学)
		E L S I (科学技術における倫理的・法的・社会的課題) ※ 食から見えるからだと文化私たちの暮らしと環境科学学問の世界 ※ 生物学から見える世界科学技術が作り出す世界文学作品のメタファー ※ 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 教養ゼミ4			E L S I (科学技術における倫理的・法的・社会的課題) ※ 食から見えるからだと文化私たちの暮らしと環境科学学問の世界 ※ 生物学から見える世界科学技術が作り出す世界文学作品のメタファー ※ 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 教養ゼミ4
兼任	教授	笹原 千穂子 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	教授	笹原 千穂子 <令和5年4月> 博士(医学)
		スポーツとテクノロジー ※			体育スポーツ科学実践A スポーツとテクノロジー ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	篠山 浩文 <令和5年4月> 農学博士	兼任	教授	篠山 浩文 <令和5年4月> 農学博士
		人類とその環境 ※ 多摩と生活 ※			人類とその環境 ※ 多摩と生活 ※
兼任	教授	清水 文直 <令和5年4月> 博士(電気工学)	兼任	教授	清水 文直 <令和5年4月> 博士(電気工学)
		これからのエネルギーとそ の利用 ※ 学問の世界 ※ 物理学で読み解く世界 現代社会と工学 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 教養ゼミ4			これからのエネルギーとそ の利用 ※ 学問の世界 ※ 物理学で読み解く世界 現代社会と工学 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 教養ゼミ4
兼任	教授	末田 欣子 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	末田 欣子 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報セキュリティ入門			情報セキュリティ入門
兼任	教授	菅原 良 <令和5年4月> 博士(教育情報学)	兼任	教授	菅原 良 <令和5年4月> 博士(教育情報学)
		学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用			学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用
兼任	教授	鈴木 時男 <令和5年4月> Ph. D. in Economics (豪)	兼任	教授	鈴木 時男 <令和5年4月> Ph. D. in Economics (豪)
		グローバル時代の経営 ポスト経済成長時代の未来 論 ※ 学問の世界 ※ 現代経済への視点			グローバル時代の経営 ポスト経済成長時代の未来 論 ※ 学問の世界 ※ 現代経済への視点
兼任	教授	巖 小椋 <令和5年4月> 文学修士	兼任	教授	巖 小椋 <令和5年4月> 文学修士
		文学作品のメタファー ※			文学作品のメタファー ※
兼任	教授	T. バーデン <令和5年4月> M. A. in Applied Linguistics and TESOL (英)	兼任	教授	T. バーデン <令和5年4月> M. A. in Applied Linguistics and TESOL (英)
		英語1B スポーツと外国語 ※ 英語2B 英語3B 英語4B 実践英会話1 実用英語1 実践英会話2 実用英語2			英語1B スポーツと外国語 ※ 英語2B 英語3B 英語4B 実践英会話1 実用英語1 実践英会話2 実用英語2
兼任	教授	高橋 南海子 <令和5年4月> 博士(生涯発達科学)	兼任	教授	高橋 南海子 <令和5年4月> 博士(生涯発達科学)
		学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア キャリアアップ			学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア 働き方とキャリア
兼任	教授	滝井 寛 <令和5年4月> Master of Education (米) Master of Science (米)	兼任	教授	滝井 寛 <令和5年4月> Master of Education (米) Master of Science (米)
		学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア			学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア
兼任	教授	武田 有左 <令和5年4月> 美術学士	兼任	教授	武田 有左 <令和5年4月> 美術学士
		都市と建築 ※			都市と建築 ※
兼任	教授	竹峰 誠一郎 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	教授	竹峰 誠一郎 <令和5年4月> 博士(学術)
		現代社会と平和 ※			現代社会と平和 ※
兼任	教授	塚田 真一 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	教授	塚田 真一 <令和5年4月> 博士(理学)
		統計から見える世界			統計から見える世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	寺田 耕輔 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	寺田 耕輔 <令和5年4月> 博士(工学)
		機械工学概論 ※			機械工学概論 ※
兼任	教授	中島 由美 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	教授	中島 由美 <令和5年4月> 博士(理学)
		解析学			解析学
兼任	教授	中田 勇人 <令和5年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	中田 勇人 <令和5年4月> 博士(経済学)
		マクロ経済学1 マクロ経済学2			マクロ経済学1 マクロ経済学2
兼任	教授	西浦 定継 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	西浦 定継 <令和5年4月> 博士(工学)
		都市と建築 ※			都市と建築 ※
兼任	教授	西村 美香 <令和5年4月> 工学修士	兼任	教授	西村 美香 <令和5年4月> 工学修士
		学問の世界 ※ 世界の芸術のその深層 ※ アートとアートの境界線 ※ 芸術の見方 戦争と安全保障 ※ 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 教養ゼミ4			学問の世界 ※ 世界の芸術のその深層 ※ アートとアートの境界線 ※ 芸術の見方 戦争と安全保障 ※ 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 教養ゼミ4
兼任	教授	二村 健 <令和5年4月> 学術修士	兼任	教授	二村 健 <令和5年4月> 学術修士
		図書館の基礎と展望			図書館の基礎と展望
兼任	教授	萩原 修 <令和5年4月> 造形芸術学士	兼任	教授	萩原 修 <令和5年4月> 造形芸術学士
		都市という空間 ※			都市という空間 ※
兼任	教授	長谷川 裕彦 <令和5年4月> 博士(地理学)	兼任	教授	長谷川 裕彦 <令和5年4月> 博士(地理学)
		現代社会と平和 ※ 気候と人口の問題 ※			現代社会と平和 ※ 気候と人口の問題 ※
兼任	教授	林 伸一郎 <令和5年4月> 文学修士	兼任	教授	林 伸一郎 <令和5年4月> 文学修士
		学問の世界 ※ 宗教から見える現代社会 ※ 宗教と人間 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 上級フランス語1 教養ゼミ4 上級フランス語2			学問の世界 ※ 宗教から見える現代社会 ※ 宗教と人間 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 上級フランス語1 教養ゼミ4 上級フランス語2
兼任	教授	林 実 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	林 実 <令和5年4月> 博士(工学)
		知能情報工学			知能情報工学
兼任	教授	林 雄介 <令和5年4月> 文学修士	兼任	教授	林 雄介 <令和5年4月> 文学修士
		韓国語1A 学問の世界 ※ 世界の芸術のその深層 ※ 韓国語2A グローバル・ヒストリー 創造される歴史と人々が紡ぐ歴史 ※ 韓国語3A 韓国語4A 中級韓国語1 中級韓国語2			韓国語1A 学問の世界 ※ 世界の芸術のその深層 ※ 韓国語2A グローバル・ヒストリー 創造される歴史と人々が紡ぐ歴史 ※ 韓国語3A 韓国語4A 中級韓国語1 中級韓国語2
兼任	教授	秀村 研二 <令和5年4月> 文学修士	兼任	教授	秀村 研二 <令和5年4月> 文学修士
		人類とその環境 ※ 創造される歴史と人々が紡ぐ歴史 ※ 多摩と生活 ※ ダイバーシティ&インクルージョン ※			人類とその環境 ※ 創造される歴史と人々が紡ぐ歴史 ※ 多摩と生活 ※ ダイバーシティ&インクルージョン ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	平井 歩実 <令和5年4月> 学術修士	兼任	教授	平井 歩実 <令和5年4月> 学術修士
		図書館の基礎と展望 情報社会文化論			図書館の基礎と展望 情報社会文化論
兼任	教授	平塚 大輔 <令和5年4月> 修士(経営管理)	兼任	教授	平塚 大輔 <令和5年4月> 修士(経営管理)
		学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア			学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア
兼任	教授	深澤 清 <令和5年4月> 文学修士	兼任	教授	深澤 清 <令和5年4月> 文学修士
		学問の世界 ※ 地域研究(ヨーロッパ) ※ 文学作品のメタファー ※ 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 教養ゼミ4			学問の世界 ※ 地域研究(ヨーロッパ) ※ 文学作品のメタファー ※ 教養ゼミ1 教養ゼミ2 教養ゼミ3 教養ゼミ4
			兼任	教授	細川 昌彦 <令和5年4月> 法学士 国際関係を読み解く
兼任	教授	丸山 一貴 <令和5年4月> 博士(情報理工学)	兼任	教授	丸山 一貴 <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		アルゴリズムとデータ構造 2 ※			アルゴリズムとデータ構造 2 ※
兼任	教授	宮本 岳史 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	宮本 岳史 <令和5年4月> 博士(工学)
		機械工学概論 ※			機械工学概論 ※
兼任	教授	村岡 慧歩 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	教授	村岡 慧歩 <令和5年4月> 博士(学術)
		体育スポーツ科学実践A スポーツとテクノロジー ※ 体育スポーツ科学実践B			体育スポーツ科学実践A スポーツとテクノロジー ※ 体育スポーツ科学実践B
兼任	教授	毛利 聡子 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	教授	毛利 聡子 <令和5年4月> 博士(学術)
		現代社会と平和 ※			現代社会と平和 ※
兼任	教授	山本 陽子 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	教授	山本 陽子 <令和5年4月> 博士(文学)
		芸術の見方			芸術の見方
兼任	教授	米田 正彦 <令和5年4月> 工学修士	兼任	教授	米田 正彦 <令和5年4月> 工学修士
		都市と建築 ※			都市と建築 ※
兼任	准教授	石田 宗之 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	石田 宗之 <令和5年4月> 博士(理学)
		量子力学1 量子力学2			量子力学1 量子力学2
兼任	准教授	伊藤 智久 <令和5年4月> 修士(社会情報学)	兼任	准教授	伊藤 智久 <令和5年4月> 修士(社会情報学)
		21世紀の社会像を描く ※			21世紀の社会像を描く ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	鍾物 美佳 <令和5年4月> 博士(哲学)、Docteur en philosophie (仏)	兼任	准教授	鍾物 美佳 <令和5年4月> 博士(哲学)、Docteur en philosophie (仏)
		世界の言葉と文化を知る ※ 境界線上の日本学 母語から見える世界と外国語から見える世界 ※ ことばの窓から広がる世界 ※ 身体論 ※ 世界の身体文化 ※ 哲学から考える人間 フランス語3 A フランス語4 A 中級フランス語1 中級フランス語2			世界の言葉と文化を知る ※ 海外語学研修A ※ 境界線上の日本学 ※ 母語から見える世界と外国語から見える世界 ※ ことばの窓から広がる世界 ※ 身体論 ※ 世界の身体文化 ※ 哲学から考える人間 フランス語3 A フランス語4 A 中級フランス語1 中級フランス語2
兼任	准教授	小笠原 岳 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	小笠原 岳 <令和5年4月> 博士(工学)
		都市と建築 ※			都市と建築 ※
兼任	准教授	尾野 裕美 <令和5年4月> 博士(カウンセリング科学)			
		21世紀の社会像を描く ※			
兼任	准教授	森原(酒井) 明栄子 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	森原(酒井) 明栄子 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報学基礎 ※			情報学基礎 ※
兼任	准教授	向後(喜夢) 恵里子 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	教授	向後(喜夢) 恵里子 <令和5年4月> 修士(文学)
		世界の芸術のその深層 ※			世界の芸術のその深層 ※
兼任	准教授	小寺 俊樹 <令和5年4月> 博士(経済学)	兼任	准教授	小寺 俊樹 <令和5年4月> 博士(経済学)
		ミクロ経済学1 ミクロ経済学2			ミクロ経済学1 ミクロ経済学2
兼任	准教授	小山 昌志 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	小山 昌志 <令和5年4月> 博士(工学)
		機械工学概論 ※			機械工学概論 ※
兼任	准教授	佐藤 洋 <令和5年4月> 博士(体育科学)	兼任	准教授	佐藤 洋 <令和5年4月> 博士(体育科学)
		スポーツと外国語 ※ 大学論 ※ 現代スポーツ論 体育スポーツ科学実践A 健康スポーツ科学論 体育スポーツ科学実践B			スポーツと外国語 ※ 大学論 ※ 体育スポーツ科学実践A 体育スポーツ科学実践B
兼任	准教授	鈴木(横島) 陽子 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	鈴木(横島) 陽子 <令和5年4月> 博士(理学)
		応用解析 解析力学 量子力学3			応用解析 解析力学 量子力学3
兼任	准教授	高橋 珠州彦 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	高橋 珠州彦 <令和5年4月> 博士(文学)
		サステナビリティと人類社会 スポーツを通して地域を学ぶ ※ 多摩と自然 地理学で知る生活・文化・環境 都市という空間 ※ 気候と人口の問題 ※ 多摩と生活 ※ 多摩を歩く			サステナビリティと人類社会 ※ スポーツを通して地域を学ぶ ※ 多摩と自然 地理学で知る生活・文化・環境 都市という空間 ※ 気候と人口の問題 ※ 多摩と生活 ※ 多摩を歩く
兼任	准教授	田中(二橋) 愛 <令和5年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	田中(二橋) 愛 <令和5年4月> 博士(教育学)
		スポーツを通して地域を学ぶ ※ 体育スポーツ科学実践A 健康スポーツ科学論 身体論 ※ 世界の身体文化 ※ 体育スポーツ科学実践B			身体論 ※ 世界の身体文化 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	土野 瑞穂 <令和5年4月> 博士(社会科学)	兼任	准教授	土野 瑞穂 <令和5年4月> 博士(社会科学)
		21世紀の社会像を描く ※ ポスト経済成長時代の未来論 ※ 現代社会と平和 ※ 国際関係を読み解く ダイバーシティ&インクルージョン 社会の中の法 ※ 政治学から考える社会 戦争と安全保障 ※ 多摩と生活 ※			多摩と生活 ※
兼任	准教授	鶴田(須藤) 涼子 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	鶴田(須藤) 涼子 <令和5年4月> 博士(文学)
		ドイツ語1A 世界の言葉と文化を知る ※ 地域研究(ヨーロッパ) ※ 文学の世界に浸る ドイツ語2A 文学作品のメタファー ※ ドイツ語3A ドイツ語4A 中級ドイツ語1 中級ドイツ語2 上級ドイツ語1 上級ドイツ語2	兼任	准教授	ドイツ語1A 世界の言葉と文化を知る ※ 地域研究(ヨーロッパ) ※ 文学の世界に浸る ドイツ語2A 文学作品のメタファー ※ ドイツ語3A ドイツ語4A 中級ドイツ語1 中級ドイツ語2 上級ドイツ語1 上級ドイツ語2 海外語学研修A ※
兼任	准教授	濱野 喬士 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	濱野 喬士 <令和5年4月> 博士(文学)
		E L S I (科学技術における倫理的・法的・社会的課題) ※ 大学論 ※ 哲学から考える世界 アートとアートの境界線 ※ 戦争と安全保障 ※	兼任	准教授	E L S I (科学技術における倫理的・法的・社会的課題) ※ 大学論 ※ 哲学から考える世界 アートとアートの境界線 ※ 戦争と安全保障 ※
兼任	准教授	藤原(甲野) 愛 <令和5年4月> 修士(言語学)	兼任	准教授	藤原(甲野) 愛 <令和5年4月> 修士(言語学)
		世界の言葉と文化を知る ※ 地域研究(アメリカ) ※ 母語から見える世界と外国語から見える世界 ※ ことばと文化の結びつき ※ ことばの意から広がる世界 ※ 人間と言葉 海外語学研修A	兼任	准教授	世界の言葉と文化を知る ※ 英語1A 英語2A 地域研究(アメリカ) ※ 母語から見える世界と外国語から見える世界 ※ ことばと文化の結びつき ※ ことばの意から広がる世界 ※ 人間と言葉 海外語学研修A
兼任	准教授	薬袋 佳祐 <令和5年4月> 法務博士(専門職)			
		戦争と安全保障 ※			
兼任	准教授	南 愛 <令和5年4月> 修士(キャリアデザイン学)	兼任	教授	南 愛 <令和5年4月> 修士(キャリアデザイン学)
		学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア キャリアアップ	兼任	教授	学びとキャリア 社会とキャリア キャリアデザイン基礎 キャリアデザイン応用 仕事とキャリア 働き方とキャリア
			兼任	准教授	谷島 謙 <令和5年4月> Ph.D.(英国) サステイナビリティと人類社会 ※
兼任	准教授	渡邊 晶 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	渡邊 晶 <令和5年4月> 博士(工学)
		コンピュータネットワーク			コンピュータネットワーク
兼任	講師	中野 隆基 <令和5年4月> 修士(学術)	兼任	准教授	中野 隆基 <令和5年4月> 修士(学術)
		スペイン語1A 世界の言葉と文化を知る ※ 地域研究(アメリカ) ※ スペイン語2A ことばと文化の結びつき ※ スペイン語3A スペイン語3B スペイン語3A スペイン語4A スペイン語4B 中級スペイン語1 中級スペイン語2 上級スペイン語1 上級スペイン語2	兼任	准教授	スペイン語1A 世界の言葉と文化を知る ※ 地域研究(アメリカ) ※ スペイン語2A ことばと文化の結びつき ※ スペイン語3A スペイン語3B スペイン語4A スペイン語4B 中級スペイン語1 中級スペイン語2 上級スペイン語1 上級スペイン語2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
					吉川 弘晃 <令和5年4月> 修士(文学)
			兼任	講師	境界線上の日本学※
兼任	助教	廣瀬 直記 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	助教	廣瀬 直記 <令和5年4月> 博士(文学)
		世界の言葉と文化を知る ※ 宗教から見える現代社会 ※ 文学作品のメタファー ※ 中国語3B 中国語4B 教養ゼミ1 中級中国語1 教養ゼミ2 中級中国語2 教養ゼミ3 上級中国語1 教養ゼミ4 上級中国語2			世界の言葉と文化を知る ※ 宗教から見える現代社会 ※ 文学作品のメタファー ※ 中国語3B 中国語4B 教養ゼミ1 中級中国語1 教養ゼミ2 中級中国語2 教養ゼミ3 上級中国語1 教養ゼミ4 上級中国語2 海外語学研修A※
兼任	助教	深井 祐哉 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	深井 祐哉 <令和5年4月> 博士(工学)
		都市と建築 ※			都市と建築 ※
					松本 沙羅 <令和5年4月> 博士(コーチング学)
			兼任	助教	体育スポーツ科学実践A 体育スポーツ科学実践B 現代スポーツ論 スポーツを通して地域を学ぶ
兼任	講師	五十嵐 正敏 <令和5年4月> 博士(化学)	兼任	講師	五十嵐 正敏 <令和5年4月> 博士(化学)
		生活の中の化学			生活の中の化学
兼任	講師	石川 正弘 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	石川 正弘 <令和5年4月> 博士(理学)
		地球惑星学			地球惑星学
兼任	講師	伊東 優美 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	講師	伊東 優美 <令和5年4月> 博士(工学)
		数学で社会を見る			数学で社会を見る
兼任	講師	井上 愛 <令和5年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	井上 愛 <令和5年4月> 修士(文学)※
		日本文化の深層			日本文化の深層
兼任	講師	枝見 太郎 <令和5年4月> 高等学校卒	兼任	講師	枝見 太郎 <令和5年4月> 高等学校卒
		ボランティア論			ボランティア論
兼任	講師	王(青山) 瑞来 <令和5年4月> 博士(史学)	兼任	講師	王(青山) 瑞来 <令和5年4月> 博士(史学)
		地域研究(アジア)			地域研究(アジア)
兼任	講師	大内 功 <令和5年4月> 学士(工学)	兼任	講師	大内 功 <令和5年4月> 学士(工学)
		機械情報処理			機械情報処理
兼任	講師	大岡(中本) ヨト <令和5年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	大岡(中本) ヨト <令和5年4月> 修士(教育学)※
		教育と21世紀の社会			教育と21世紀の社会
兼任	講師	大槻 茂久 <令和5年4月> 修士(体育科学)	兼任	講師	大槻 茂久 <令和5年4月> 修士(体育科学)
		スポーツと外国語 ※			スポーツと外国語 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	緒賀 正浩 <令和5年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	緒賀 正浩 <令和5年4月> 博士(教育学)
		データサイエンスリテラシー 情報の活用と倫理			情報の活用と倫理
兼任	講師	梶原 直樹 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	梶原 直樹 <令和5年4月> 文学修士
		心理学と人々の行動			心理学と人々の行動
			兼任	講師	C. サトウ <令和5年4月> Bachelor degree in business administration(ペルー)
					スペイン語1B スペイン語2B
兼任	講師	許 家晟 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	講師	許 家晟 <令和5年4月> 博士(文学)
		中国語3A 中国語4A			中国語3A 中国語4A
兼任	講師	桑原 和也 <令和5年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	桑原 和也 <令和5年4月> 修士(教育学)
		データサイエンスリテラシー 情報の活用と倫理			情報の活用と倫理
兼任	講師	小中 さつき <令和5年4月> 法学修士	兼任	講師	小中 さつき <令和5年4月> 法学修士
		日本国憲法 法学から見える社会			日本国憲法 法学から見える社会
兼任	講師	佐藤 雄哉 <令和5年4月> 博士(体育科学)	兼任	講師	佐藤 雄哉 <令和5年4月> 博士(体育科学)
		世界の身体文化 ※			世界の身体文化 ※
兼任	講師	杉本 公子 <令和5年4月> Master of Arts in East Asian Studies (米)	兼任	講師	杉本 公子 <令和5年4月> Master of Arts in East Asian Studies (米)
		中国語1B 中国語2B			中国語1B 中国語2B
			兼任	講師	鈴木 真奈美 <令和5年4月> 修士(学術)※
					政治学から見える社会
兼任	講師	須藤 智亜紀 <令和5年4月> 経営学士	兼任	講師	須藤 智亜紀 <令和5年4月> 経営学士
		データサイエンスリテラシー 情報の活用と倫理			データサイエンスリテラシー 情報の活用と倫理
			兼任	講師	瀬高 昌弘 <令和5年4月> 修士(メディア学)※
					情報学基礎※
兼任	講師	大門 啓幸 <令和5年4月> 法務博士(専門職)	兼任	講師	大門 啓幸 <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		情報倫理 ※			情報倫理 ※
			兼任	講師	高橋 節子 <令和5年4月> 博士(学術)
					ダイバーシティ&インクルージョン※
兼任	講師	高部(笹本) 優子 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	講師	高部(笹本) 優子 <令和5年4月> 博士(学術)
		現代社会と平和 ※			現代社会と平和 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	滝本(真部) 順子 <令和5年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	滝本(真部) 順子 <令和5年4月> 修士(社会学)
		現代社会の仕組み			現代社会の仕組み
兼任	講師	武田(堀江) 里子 <令和5年4月> 博士(総合社会文化)	兼任	講師	武田(堀江) 里子 <令和5年4月> 博士(総合社会文化)
		ジェンダーを考える 社会に生きる私たちの人権			ジェンダーを考える 社会に生きる私たちの人権
			兼任	講師	竹之内 慎 <令和5年4月> 博士(情報学)
					図書館の基礎と展望
兼任	講師	田中 藤司 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	田中 藤司 <令和5年4月> 修士(文学)
		世界の人々の生活と文化			世界の人々の生活と文化
兼任	講師	丹治 昭夫 <令和5年4月> 学士(工学)	兼任	講師	丹治 昭夫 <令和5年4月> 学士(工学)
		アルゴリズムとデータ構造 1			アルゴリズムとデータ構造 1
兼任	講師	丹間 康仁 <令和5年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	丹間 康仁 <令和5年4月> 博士(教育学)
		生涯学習論			生涯学習論
兼任	講師	董 丹犁 <令和5年4月> 学士(中国語文学)	兼任	講師	董 丹犁 <令和5年4月> 学士(中国語文学)
		中国語 1 A 中国語 2 A			中国語 1 A 中国語 2 A
兼任	講師	中 貴史 <令和5年4月> 法務博士(専門職) LL.M. (米)	兼任	講師	中 貴史 <令和5年4月> 法務博士(専門職) LL.M. (米)
		情報倫理 ※			情報倫理 ※
			兼任	講師	中東 友伸 <令和5年4月> 修士(国際貢献)
					戦争と安全保障※ 現代社会と平和※
兼任	講師	中山(永倉) 千夏子 <令和5年4月> 文学博士	兼任	講師	中山(永倉) 千夏子 <令和5年4月> 文学博士
		フランス語 1 B フランス語 2 B フランス語 3 B フランス語 4 B			フランス語 1 B フランス語 2 B フランス語 3 B フランス語 4 B
兼任	講師	名取 修一 <令和5年4月> 経営学修士	兼任	講師	名取 修一 <令和5年4月> 経営学修士
		グローバル時代の経営			グローバル時代の経営
兼任	講師	新美 知枝子 <令和5年4月> 修士(情報保障学)	兼任	講師	新美 知枝子 <令和5年4月> 修士(情報保障学)
		データサイエンスリテラシー 情報の活用と倫理			情報の活用と倫理
兼任	講師	能登 省二 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	能登 省二 <令和5年4月> 文学修士
		フランス語 1 A フランス語 2 A			フランス語 1 A フランス語 2 A
兼任	講師	濱野 志保 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	講師	濱野 志保 <令和5年4月> 博士(文学)
		アートとアートの境界線 ※			アートとアートの境界線 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	林 徹 <令和5年4月> 修士(比較文化)	兼任	講師	林 徹 <令和5年4月> 修士(比較文化)
		遺物が語る世界			遺物が語る世界
兼任	講師	早田 雅人 <令和5年4月> 修士(ドイツ文学)	兼任	講師	早田 雅人 <令和5年4月> 修士(ドイツ文学)
		ドイツ語1B ドイツ語2B			ドイツ語1B ドイツ語2B
			兼任	講師	細川 尚子 <令和5年4月> D.Phil in Oriental Studies(英国)
					世界の言葉と文化を知る※
兼任	講師	堀江 幸男 <令和5年4月> 高等学校卒	兼任	講師	堀江 幸男 <令和5年4月> 高等学校卒
		データサイエンスリテラシー 情報の活用と倫理			データサイエンスリテラシー 情報の活用と倫理
兼任	講師	丸山(藤原) 達也 <令和5年4月> 修士(ドイツ文学)※	兼任	講師	丸山(藤原) 達也 <令和5年4月> 修士(ドイツ文学)※
		ドイツ語3B ドイツ語4B			ドイツ語3B ドイツ語4B
			兼任	講師	水島 雅彦 <令和5年4月> 修士(体育学)
					健康スポーツ科学論
兼任	講師	横田 真秀 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	横田 真秀 <令和5年4月> 博士(理学)
		離散数学B			離散数学B
兼任	講師	吉岡 紫 <令和5年4月> 工学士	兼任	講師	吉岡 紫 <令和5年4月> 工学士
		アルゴリズムとデータ構造 2 ※			アルゴリズムとデータ構造 2 ※
兼任	講師	吉田 直可 <令和5年4月> 法務博士(専門職)	兼任	講師	吉田 直可 <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		情報倫理 ※			情報倫理 ※
兼任	講師	和田 佳浦 <令和5年4月> 修士(学術)			
		スペイン語1B スペイン語2B			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**履可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・令和5年4月教員組織の充実を図るため、河原 弘幸専任准教授を追加。
- ・令和5年4月櫻井 達也 専任准教授、教授に職位変更。
- ・令和5年4月向後(喜夢) 恵里子 兼任准教授、教授に職位変更。
- ・令和5年4月田中(二橋) 愛 兼任准教授が退職し、兼任講師に職位変更。
- ・令和5年4月南 愛 兼任准教授、教授に職位変更。
- ・令和5年4月中野 隆基 兼任講師、准教授に職位変更。
- ・令和5年4月深井 祐敏 兼任助教、准教授に職位変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「情報学基礎」担当者を、篠原 聡専任教授から、瀬高 昌弘兼任講師へ変更。
- ・教員配置の見直しのため、「データサイエンスリテラシー」担当者を、緒賀 正浩兼任講師、桑原 和也兼任講師、新美 知枝子兼任講師から、河原 弘幸専任准教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「プログラミング演習」担当者から山中 脩也専任准教授を削除。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「スポーツとテクノロジー」担当者に、今福 一寿兼任教授を追加。
- ・尾野 裕美兼任教授退職のため、「21世紀の社会像を描く」担当者を、上田 耕造兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「英語1A」「英語2A」担当者を、内田 富男兼任教授から、藤原(甲野) 愛兼任教授へ変更。
- ・教員配置の見直しおよび田中(二橋) 愛兼任教授退職のため、「体育スポーツ科学実践A」担当者に、金子 敬二兼任教授、笹原 千穂子兼任教授、松本 沙羅兼任助教を追加。
- ・教員配置の見直しおよび田中(二橋) 愛兼任教授退職のため、「体育スポーツ科学実践B」担当者に、金子 敬二兼任教授、松本 沙羅兼任助教を追加。
- ・教育効果向上のため、「海外語学研修A」担当者に、金 庚芬兼任教授、鏑物 美佳兼任教授、鶴田(須藤) 涼子兼任教授、廣瀬 直記兼任助教を追加。
- ・授業内容の見直しによりオムニバスでの開講となったことおよび土野 瑞穂兼任教授の学外研究による不在のため、「ダイバーシティ&インクルージョン」担当者を、土野 瑞穂兼任教授から、秀村 研二兼任教授、高橋 節子兼任講師に変更。
- ・土野 瑞穂兼任教授の学外研究による不在のため、「国際関係を読み解く」担当者を、細川 昌彦兼任教授に変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「現代スポーツ論」担当者を、佐藤 洋兼任教授から、松本 沙羅兼任助教へ変更。
- ・和田 佳浦兼任講師退職のため、「スペイン語1B」「スペイン語2B」担当者を、C. サトウ兼任講師に変更。
- ・田中(二橋) 愛兼任教授退職のため、「スポーツを通して地域を学ぶ」担当者を、松本 沙羅兼任助教に変更。
- ・教員配置の見直しおよび田中(二橋) 愛兼任教授退職のため、「健康スポーツ科学論」担当者を、田中(二橋) 愛兼任教授、佐藤 洋兼任教授から、水島 徳彦兼任講師へ変更。
- ・土野 瑞穂兼任教授の学外研究による不在のため、「21世紀の社会像を描く」「ポスト経済成長時代の未来論」「社会の中の法」担当者から削除。
- ・土野 瑞穂兼任教授の学外研究による不在のため、「現代社会と平和」担当者を、中東 友幸兼任講師に変更。
- ・土野 瑞穂兼任教授の学外研究による不在のため、「政治学から見える社会」担当者を、鈴木 真奈美兼任講師に変更。
- ・土野 瑞穂兼任教授の学外研究による不在および薬袋 佳祐兼任教授退職のため、「戦争と安全保障」担当者を、中東 友幸兼任講師に変更。
- ・授業内容の見直しによりオムニバスでの開講となったため、「サステナビリティと人類社会」担当者に、谷島 緑兼任教授を追加。
- ・授業内容の見直しによりオムニバスでの開講となったため、「境界線上の日本学」担当者に、吉川 弘晃兼任講師を追加。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「図書館の基礎と展望」担当者に、竹之内 禎兼任講師を追加。
- ・教育効果向上のため、「世界の言葉と文化を知る」担当者に、細川 尚子兼任講師を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	7
14	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
13	7	0	0	20	0	14	7	0	0	21	0
(13)	(7)	(0)	(0)	(20)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
14	7	0	0	21	0	14	7	0	0	21	0
[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員のうち、 定年を延長して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員のうち、 定年を延長して採用する 教員数
65又は70 (着任時期により異なる)	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{20} = \boxed{105} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{21} = \boxed{4.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{20} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<データサイエンス学環>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「明星大学SD・FDに関する規程」（別紙1）第3条に基づき、以下の委員会を設置。

(1) 全学SD・FD委員会

(2) 学部、学環、研究科、全学共通教育委員会及び通信教育部における部局別SD・FD委員会

※SD・FDの推進組織へ見直しを行ったことに伴い、2023年4月1日より「全学FD委員会」「部局別FD委員会」から名称変更。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 全学FD委員会

委員長（学長が指名する副学長）1名、委員（各学部の教務委員長）9名、その他学長が指名する教職員若干名で構成され、開催時には全委員が出席している。

【令和4年度の開催状況】

・第1回全学FD委員会 令和4年7月19日（火）～7月26日（火） 教員参加人数11名

・第2回全学FD委員会 令和4年11月23日（水）～11月28日（月） 教員参加人数11名

c 委員会の審議事項等

(1) 全学FD委員会

・全学的なFD活動のための基本方針の策定

・全学的なFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告

② 実施状況

a 実施内容

(1) 全学FD研修会の開催

他大学の講師を招聘して、内部質保証や学修成果の把握・可視化に向けた取組みに関する事例紹介について講演を実施し、学内で共有した。

(2) 新任教員のための研修会の開催

本学苑の建学の精神の伝達から、本学での教育研究を行うためのルール等について研修を行った。

b 実施方法

- (1) 全学FD研修会
全教員を対象に、対面での集合研修は行わず、オンラインおよびオンデマンド配信で開催した。
- (2) 新任教員のための研修会
新任の専任教員に対して、対面で実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 全学FD研修会
令和4年12月15日（木）～ 3月31日（金） 教員参加人数：80名
- (2) 新任教員のための研修会
令和5年度は4月4日（火）に実施し、新任教員全員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・全学FD研修会を通じて、内部質保証システムを有効に機能させるためのポイント等を学ぶとともに課題を認識し、組織の連携体制や3つの方針の見直し等に全教員が参画して取組むことで教育の質向上につなげている。
- ・本学の教育理念、教育研究活動に関わる内容を共有し、教育活動の質的向上を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 全学共通実施
- ・実施時期 前期（7月～8月）及び後期（12月～2月）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・大学公式ウェブサイトで、全体及び学部別に集計結果を公表している。
- ・学生のアンケート結果を基に各授業担当教員が「授業改善実施記録」を作成し、次年度以降の授業改善に活かしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和5年6月30日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和5年6月30日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・ 令和6年に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和5年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

明星大学SD・FDに関する規程

2023年4月1日
制 定

(趣旨)

第1条 この規程は、明星大学学則（昭和39年4月1日）第61条、明星大学大学院学則（昭和46年4月1日）第49条、明星大学通信教育部学則（昭和42年4月1日）第57条及び明星大学通信制大学院学則（平成11年4月1日）第40条に基づき、明星大学（以下「本学」という。）におけるスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）及びファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するための組織及び運営について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程におけるSDとは、本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を実現することを目的とする、教職員が必要な知識及び技能を習得し、その能力及び資質を向上させるための組織的な活動をいう。

2 この規程におけるFDとは、自己点検・評価の結果を踏まえた教育研究活動等の改善・向上を推進することを目的とする、教員の資質向上および教員組織の改善・向上を図るための組織的な活動をいう。

(推進体制)

第3条 本学のSD及びFDを推進するため、全学SD・FD委員会（以下「全学委員会」という。）を置く。

2 学部、学環、研究科、全学共通教育委員会及び通信教育部（以下「各部局」という。）は、部局別SD・FD委員会（以下「部局別委員会」という。）を設け、全学委員会が策定する基本方針に基づき、各部局におけるSD及びFDを推進する。

(全学委員会の組織)

第4条 全学委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 学長が指名する副学長
- (2) 学部長
- (3) 学環長
- (4) 研究科長
- (5) 全学共通教育委員会委員長
- (6) 学苑・大学事務局長
- (7) 学苑・大学企画局長
- (8) その他学長が必要と認めた者

2 委員長は、学長が指名した副学長とする。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長が必要と認めたときは、全学委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

5 全学委員会の事務は、教務ユニット及び理事長・学長室ユニットが行う。

(全学委員会の任務)

第5条 全学委員会の任務は、次のとおりとする。

- (1) 全学的なSD及びFDのための基本方針の策定

- (2) 全学的なSD及びFDの研究会、研修会等の企画、実施及び報告
- (3) 授業に関する学生アンケートの企画及び活用方法の検討
- (4) 各部局でのSD及びFDの研究会、研修会等への支援
- (5) 国内外の高等教育の動向に係る情報収集
- (6) その他、全学的なSD及びFDに係る事項

(部局別委員会の組織)

第6条 部局別委員会は、各部局別に次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学部SD・FD委員会
 - ア 学部長
 - イ 学部の互選により選出された者
 - ウ 学部長が指名する教職員
- (2) 学環SD・FD委員会
 - ア 学環長
 - イ 学環の互選により選出された者
 - ウ 学環長が指名する教職員
- (3) 研究科SD・FD委員会
 - ア 研究科長
 - イ 研究科の互選により選出された者
 - ウ 研究科長が指名する教職員
- (4) 全学共通教育委員会SD・FD委員会
 - ア 全学共通教育委員会委員長
 - イ 全学共通教育委員会の互選により選出された者
 - ウ 全学共通教育委員会委員長が指名する教職員
- (5) 通信教育部SD・FD委員会
 - ア 通信教育課程長
 - イ 通信教育代表委員会の互選により選出された者
 - ウ 通信教育課程長が指名する教職員

(部局別委員会の任務)

第7条 部局別委員会の任務は、次のとおりとする。

- (1) 各部局のSD及びFDの研究会、研修会等の企画、実施及び報告
- (2) 授業に関する学生アンケートの各部局における活用方法の検討
- (3) その他、各部局のSD及びFDに係る事項

2 部局別委員会について必要な事項は、各部局で定める。

(委任)

第8条 この規程の定めるもののほか必要な事項については、学長が定める。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、学部長会の意見を聴いて、学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、2023年4月1日から施行する。
- 2 明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程（平成21年4月1日）は廃止する。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

データサイエンス学環

定員充足状況

データサイエンス学環は、3学部（情報学部、理工学部、経済学部）の緊密な連携協力により、2023年4月に学部等連携課程として設置された。入学定員は、連携協力学部から定員を10名ずつ拠出し、30名としている。データサイエンスの基幹としての数理科学、統計学、情報学分野についての教育と、連携協力学部の専門性を活かしたデータサイエンス活用に対する教育とを実施するため、数理科学および統計学分野を専門とする教員を開設に合わせて新規に2名採用^注し、連携協力学部から18名の教員が参画した。初年度の入試では、総合型選抜は実施せず、学校推薦型選抜において2名の学生を受け入れた。一般入試では500名超の志願者を集め、新入生として30名を迎え入れることができた。

注：設置届出後、全学共通科目の「データサイエンスリテラシー」を主に担当する教員1名を新たに採用し、学環所属としたため、新規採用教員は2名から3名に変更を行った。

カリキュラムの概要と人材養成の方針

データサイエンス学環は、幅広い教養と数理科学・統計学・情報学を基盤とするデータサイエンスの専門知識と実践技術の修得に加え、実社会における活用方法を修得することにより、社会の多様な諸問題に対して、課題発見から課題解決に至る過程のデータを活用し、デジタル社会の基盤を支えるデータに精通し、大量のデータを正しく扱い、新たな価値を創りだせる人材を育成する。このため、数理科学・統計学・情報学を基礎から学び基軸として身に付けられるよう基幹科目を、応用分野として連携協力学部の専門性を活かせるよう系統立てた応用科目を、またデータサイエンスを実践する場として演習や実習を行う研究実践科目を設けた。さらに分野横断的な学びへと誘導すべく、(a)AI・機械モデル、(b)地球・都市環境モデル、(c)ファイナンス・FinTechモデル、(d)IT・情報サービスモデルといった履修モデルを設定した。

データサイエンス学環第1期生（1年生）の学びとその支援体制

データサイエンス学環の学生は、現在1年生のみである。1年次の学修は、データサイエンスを生涯にわたって学んでいくための基礎固めとすべく「基礎解析学1・2」「線型代数学1・2」「統計学1・2」「プログラミング概論」「プログラミング演習」を必修として配置している。さらに応用分野や実課題への活用を見据え、それらに触れる概論科目として「データサイエンス概論1・2」も必修としている。これらにより、基礎と応用、理論と実践の往還を意識させ、履修モデルの提示と合わせ、学生の興味関心の幅を広げ、目的意識を高められるようにしている。なお、上記必修科目のほとんどが学環学生のみでの少人数クラスで実施され、手厚い指導が行われている。

総括評価と所見

以上の通り、データサイエンス学環では、学部等連携課程としての特長を活かし、新しい時代を生きるデータサイエンス人材の育成を目指した教育が進展しているものと思量される。

【連携協力学部：理工学部】

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連携課程実施基本組織（学科連携課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連携協力学部等（連携協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連携協力学部等（連携協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
20	10
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
22	10	0	0	32	0	25	8	0	0	33	0
(24)	(10)	(0)	(0)	(34)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
23	8	0	0	31	0	23	9	0	0	32	0
[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{31}{32} = \boxed{96.87} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{\bullet\bullet}{33} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【連係協力学部：経済学部】

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力量科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
16	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
9	9	0	0	18	0	16	7	0	0	23	0
(15)	(9)	(0)	(0)	(24)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
10	7	0	0	17	0	10	8	0	0	18	0
[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{18} = \boxed{94.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{\bullet\bullet}{23} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【連係協力学部：情報学部】

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
16	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
14	5	0	0	19	0	15	5	0	0	20	0
(15)	(5)	(0)	(0)	(20)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
14	5	0	0	19	0	14	5	0	0	19	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{\bullet\bullet}{20} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。